

Aus Anlass des 160. Jubiläums deutsch-japanischer Beziehungen

Deutsches Filmfestival in Osaka

日時: 2021年10月2日(土)、3日(日)
10:00~19:00

場所: OIT梅田タワー 常翔ホール



日独交流160周年イベント ドイツ映画祭

2021年、ドイツと日本の中で修好通商条約が結ばれてからちょうど160年目を迎えました。これを記念して「日独交流160周年」を祝う様々なイベントが1年を通して日本とドイツで行われています。ドイツ総領事館では昨年ご好評いただきました「大阪ドイツ映画祭」を今年は2日間にわたり開催します。

申し込み: 下記URLまたはQRコードより、上映作品毎に申込み要 (先着順)

<https://japan.diplo.de/DFF2021>

対象: 中学生以上

入場無料

入場は上映開始20分前より。上映開始後の入場禁止

主催: 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

協賛: 一般財団法人 山岡記念財団



感染予防と流行拡大防止のため以下の対策を実施いたしますのでご協力ください。

ご来場の際、会場内では必ずマスクを着用下さい。ご着用いただけない場合、映画のご鑑賞をお断りいたします。

入場時の検温と手指の消毒にご協力をお願いします。発熱のある方、体調不良の方のご入場はお断りいたします。



 10月2日(土)
10:00 - 12:30 (9:30開場)



バルトの楽園 (Ode an die Freude)

2006年 / 日本 / 監督 出目昌伸 / 134分 / 日本語・ドイツ語

第一次世界大戦で日本軍はドイツの極東基地・中国の青島を攻略。ドイツ兵約4700名は捕虜として日本各地にある収容所に移送された。多くの収容所が捕虜に厳しく接する中、徳島の板東俘虜収容所では、所長の人道的な計らいにより、人権が尊重され、待遇も寛容、ある程度の自由もあった。捕虜たちは言語や文化の異なる地域住民の温かさに触れ、収容所生活の中で、生きる喜びを見出していく。休戦条約が調印され、自由を宣告された捕虜達は所長や所員、住民に感謝を込めて、初めてベートベン作曲『交響曲第九番 歓喜の歌』の演奏に挑戦する。

 10月2日(土)
13:00 - 15:10 (12:40開場)



バルーン 奇蹟の脱出飛行 (Ballon)

2018年 / ドイツ / 監督 ミハエル・ブリー・ヘルビヒ / 125分 / ドイツ語 (日本語字幕)

東西冷戦時代、東ドイツでは多くの市民が、秘密警察の目をかいくぐり、西側への逃亡を試みていた。ある者は川を泳いで渡り、ある者はトンネルを掘って国境を突破しようとした。東ドイツに住む電気技師のペーターとその家族は手作りの熱気球で西ドイツを目指す、あと少しというところで失敗してしまう。家族に背中を押され、親友ギュンターの家族も巻き込み再度挑戦することを決意するが、ギュンターの兵役までリミットはわずか6週間。そして、国家の威信をかけて捜査する秘密警察の包囲網は間近に迫っていた…

 10月2日(土)
15:40 - 18:50 (15:20開場)



ある画家の数奇な運命 (Werk ohne Autor)

2018年 / ドイツ / 監督 フロリアン・ヘンケル・フォン・ドナースマルク / 189分 / ドイツ語 (日本語字幕)

ナチス政権下のドイツ。クルトは叔母の影響で芸術に親しむ日々を送っていたが、精神のバランスを崩した叔母は強制入院させられ、安楽死政策により命を奪われる。戦後東ドイツの美術学校で出会ったエリーと結婚するが、元ナチ高官の彼女の父親はクルトの叔母を死へと追いやった張本人だった。ベルリンの壁建設の直前、夫婦で西側へ逃亡し、創作に没頭するが、美術学校の教授から作品を全否定され、苦しみがきながら、叔母の言葉「真実はすべて美しい」を信じ続けるのだった… 現代美術界の巨匠ゲルハルト・リヒターの半生をモデルにした映画。

 10月3日(日)
10:00 - 11:50 (9:30開場)



パウルとパウラの伝説 (Die Legende von Paul und Paula)

1973年 / 東ドイツ / 監督 ハイナー・カーロウ / 105分 / ドイツ語 (日本語字幕)

幼なじみのパウルとパウラ。パウルは役人としてキャリアを積むが、プライベートでは冷めた夫婦関係に不満をもっている。パウラはスーパーで働きながら二人の子供を育てるシングルマザーで、生活のために年配のザフト氏の求婚を受けるべきか悩んでいる。ある夜、偶然ダンスバーで出会ったパウルとパウラは、激しい恋に落ちる。自分のキャリアを離婚で失いたくないと考えるパウルに、パウラは裏切られたと感じ、別れを告げる。パウルはパウラへの深い愛に気づき、愛を得ようと努め、二人は一緒に暮らし始めるが… 300万人を超す観客を動員したDEFA(東ドイツ国営の映画製作会社)屈指のヒット作。

 10月3日(日)
12:20 - 14:10 (12:00開場)



東ベルリンから来た女 (Barbara)

2012年 / ドイツ / 監督 クリスティアン・ペッツォルト / 105分 / ドイツ語 (日本語字幕)

1980年夏、統一前の東ドイツ。かつて東ベルリンの大病院に勤務していた医師バルバラは西側への移住申請を却下され、ある田舎町の病院に左遷されてきた。秘密警察の監視の目を盗み、西ベルリンに暮らす恋人ヨルクとの逢瀬や、新しい同僚アンドレからの好意を密告かと疑う、自由を奪われた日々で神経をすり減らす。患者への献身と医者としてのプライドを支えにする日々、アンドレの誠実な医師としての姿に、尊敬の念を超えた感情を抱き始める。しかしヨルクの手引きによる西側への"脱出"の日は、刻々と近づいていた…

 10月3日(日)
14:40 - 16:40 (14:20開場)



5パーセントの奇跡 ～嘘から始まる素敵な人生～ (Mein Blind Date mit dem Leben)

2017年 / ドイツ / 監督 マルク・ローテムント / 111分 / ドイツ語 (日本語字幕)

真面目で成績優秀、前途有望な学生として周囲からの期待も大きかったサリヤは10代の時に突然、先天性の病気にて視覚の95%を失ってしまう。誰もが無理だという中、サリヤは一流ホテルで働くという夢をどうしても諦めきれず、目が見えないということを隠して、最高級5つ星ホテルで見習いを始める。親友のマックスの助けを借りながら、持ち前の明るさと努力で研修課題をクリアしていく。そんなときホテルへ配送に訪れたラウラに恋をするが、徐々にトラブルが起こり始める。想像以上に厳しい現実を前に、サリヤは本当の自分を見失う…

 10月3日(日)
17:10 - 19:00 (16:50開場)



Unplanned

2019年 / アメリカ / 監督 ケイリー・ソロモン、チャック・コンツェルマン / 106分 / 英語(英語字幕、日本語字幕なし)
映画祭とは別枠で、総領事個人のお薦め映画として上映。本作はドイツでは大部分の映画館が拒絶したが、多くの観客の心をゆさぶり、短期間でDVDの映画部門で売り上げ上位に入った。妊娠中絶の残酷さを取り上げる問題作。